

観光立国実現は地方から推進を

新春特別 座談会

混迷の時代をいかに生き抜くか



新時代の旅館経営はどうあるべきか―意見を交わす各氏

観光は21世紀の有望産業とされる。これからの観光と旅館経営について、どうあるべきか。

新時代の 旅館経営とは

新 滝 私は15年前から自分の宿の経営改善を行ってきた。ある程度やっていける自信もついていたが、リーマンショックの時は強い危機感を覚えた。財務面もさうだが、自館の商売力について、見つめ直してみる。やるべきことは結構ある。もう一度生まれ変わるという。

山形県・蔵王温泉 蔵王国際ホテル社長	伊藤八右衛門氏
新潟県・瀬波温泉 夕映えの宿 汐美荘社長	浅野 謙一氏
長野県・厚温泉 明神館社長	齊藤 茂行氏
岐阜県・飛騨高山温泉 高山グリーンホテル社長	新谷 尚樹氏
石川県・山代温泉 ゆのくに天祥事務	新滝 英樹氏

司会 本社社長・江口恒明

出席者(順不同)



新谷氏

宿泊客にサプライズを 成功事例を見て考える

新谷

私が地域の特性を生かして、お客さまの求めているサービスを提供する施設が認識して

風呂があったり料理があったり。サービスがいいのは当たり前。お客さまは「私をどうやって楽しませてくれるのか」というサプライズを求めている。そのサプライズを作るのがインベションだ。

私のところではバスを持っていて、お客さまの自宅と旅館の間をドア・トゥ・ドアで、東京なら計道4万円台で売って

成功事例も含めて、どんどん自分の目で見て、いろいろ聞き、そして自分の頭で考えて、本当に自分で切り開いていくしか手はないような気がする。

新谷

抑えたいと思っている。浅野 ハワイで日本の日本海側に行ったら売っていった。名前がズバリ「裏日本」(笑)。でも、結構売れている。阿賀野川や最上川の舟下りも香港で人気だ。我が国の知らないところで、グローバルでない日本が受けて

大げさだが、そういうことも必要だと思う。ただ、大なり小なり誰でもそうだが、切り詰まらないうちのうちに、一度仕組みが出来ると、変化することが怖いというか、波風を立てたくないというのが本音。私もリーマンショックの当時、戻って10年ほど経っていたので、そ

実際に復元するなど、北陸特有の温泉地の原風景を取り戻す街作りの取り組みを進めている。小手先の売り方ばかりを求めたのではなく、我々の地域なり宿のあり方を見つめて直し上げる努力をしなければなら

日本の歴史、文化、食は、世界に冠たる素晴らしいもの。日本の観光産業の未来は明るいと思う。我々旅館業は、施設、料理、サービスという、極めて基本的なものをしっかりやっています。その一点を愚直にやっています。

日本の観光を考えると、今が最悪の時期で、これからの展望は明るいと思

生まれ変わる努力必要 基本を愚直に行うこと

新滝

伊藤

これからの展望明るい

浅野

2〜3年であること、長期的にはやるというのを頭で。2008〜2009年、自分の力でやるべきことは、宿泊単価を上げる。そして、金融機関の金利を下げてもらう努力も必要

われているが、あまり比率を上げると怖いこともある。戦争、政変、インフルエンザなどの病気や為替の変動など、我々の力ではどうにもならない要因がある。うちの場合は、2割以内

企業は人なりという。経営環境は厳しいが、逆に言うと、今は優秀な人材を確保しやすい状況にある。従業員の給与について、旅館はほかの業種に比べると、必ずしも高くない。うちは低いかもしれないが、増やしていく努力が必要だ。

吉野家の社長がいいことを言っていた。「小さな不満は愚痴が出るが、大きな不満は知恵が出る」。旅館業はこれだけ大きな業界なのだから、知恵がいっぱい出てくるはずだし、私もきょう来られた皆さんがどれだけ知恵をもらったか。

私も経営できているのだから、困っている皆さんでも、知恵を出してあげれば絶対大丈夫だ。

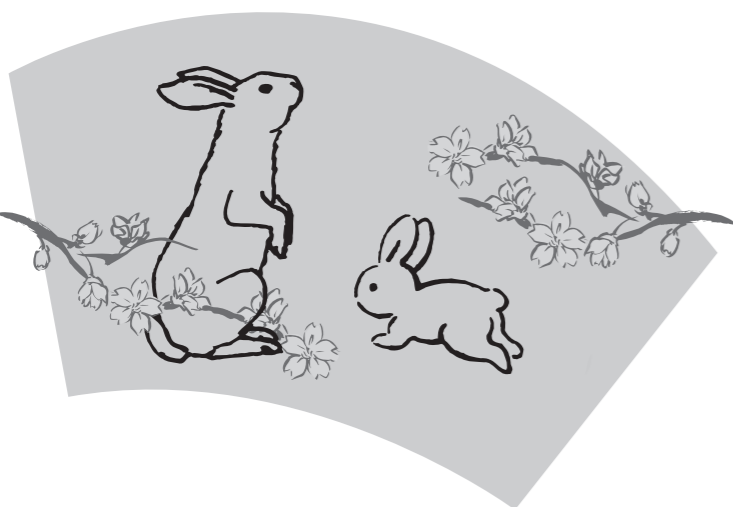


新滝氏

謹賀新年

本年も変わらぬご支援、ご協力を
心からお願ひ申し上げます。

- | | |
|------|--------|
| 名誉会長 | 田川 博己 |
| 会長 | 小田 禎彦 |
| 副会長 | 高橋 威男 |
| 副会長 | 大西 雅之 |
| 副会長 | 久保田 浩基 |
| 副会長 | 福田 朋英 |
| 副会長 | 渡邊 幸一 |
| 副会長 | 中田 力 |
| 副会長 | 西田 友行 |



お客様と旅の拠点をネットワーク
JTB協定旅館ホテル連盟